

リリース日：2026年3月25日（水） 14:00

## 京都駅すぐ、世界を魅了する“和太鼓エンタメ”の新劇場 『DRUM TAO THEATER KYOTO』博展が施設の体験 企画、デザイン、シンボルプロダクトの企画・制作を担当

JAPAN BEAT「魂が震える、至高の夢一夜」を来館から退館まで「DRUM TAO」の世界観で  
包み込む体験をデザイン



“人と社会のコミュニケーションにココロ通わす体験をつくる”株式会社博展（本社：東京都中央区、代表取締役社長：原田 淳、以下、博展）2026年4月9日に京都にオープンする和太鼓パフォーマンス集団「DRUM TAO」の専用劇場『DRUM TAO THEATER KYOTO』において、施設の体験企画、デザイン（一部意匠設計）、およびシンボルプロダクトの企画制作を担当いたしました。

## ■ プロジェクトの背景と『DRUM TAO THEATER KYOTO』について

野村不動産株式会社(以降、野村不動産)と株式会社タオ・エンターテインメントが、エンターテインメント事業に取り組むため設立した「NRE & TAOエンターテインメントパートナーズ合同会社」と、この合同会社と包括的業務提携を締結した株式会社JTBコミュニケーションデザイン、野村不動産から業務委託を受け、事業推進を担う野村不動産コマース株式会社は、この度、和太鼓パフォーマンス集団DRUM TAO(以下「DRUM TAO」)の専用劇場の施設名を『DRUM TAO THEATER KYOTO』に決定し、開業日は2026年4月9日を予定しております。

本劇場は、JAPAN BEAT「魂が震える、至高の夢一夜を」と称し、世界31ヶ国・500都市、累計1,000万人以上を熱狂の渦に巻き込んできた、和太鼓エンターテインメント集団「DRUM TAO」の新たな拠点となる専用劇場です。京都駅至近(アバンティビル9階)に誕生し、言語や国籍を越えて人々が心でつながる「ノンバーバル(非言語系)エンターテインメント」を提供します。圧倒的な和太鼓の響きと、幻想的な舞台芸術。そのすべてが凝縮された専用劇場です。

息づかいさえ感じる超至近距離シアターで、音に包まれる没入感。バーには厳選されたドリンクや軽食が並び、夜風を感じながらルーフトップで語り合う。忘れることのできない京都の夜を、あなたのために。

## ■ 施設概要

◎名称: DRUM TAO THEATER KYOTO

◎オープン日: 2026年4月9日

◎所在地: 京都府京都市南区東九条西山王町31 アバンティビル9階

◎アクセス: 地下鉄京都駅より徒歩1分 / 近鉄京都駅より徒歩3分 / JR京都駅八条口よりすぐ

◎公式サイト: <https://drum-tao-kyoto.com>

◎座席数: 最大325席 ※可動式座席のため、変動する可能性があります。

※詳細は公式サイトをご確認ください。

## ■ 博展が手掛ける空間デザインのコンセプト

博展は、「演者と観客が一体となる共鳴空間」をコアバリューに据え、来館から退館までDRUM TAOの世界観で来場者を包み込む体験型施設を企画デザインしました。客席でのパフォーマンス鑑賞にとどまらず、エントランスからホワイエ、劇場内、ルーフトップに至るすべての空間を、専用劇場ならではの「体験の場」として企画しました。

## 【主な空間体験のポイント】

### ①：TAOに最も近づける、専用劇場ならではの没入空間



劇場内は、後部座席至近のエリアまでパフォーマンスエリアを拡張し、極限までステージに近い贅沢な空間を企画。音と熱気が本能を揺さぶる、未体験の没入感で、演者の身体能力と溢れるエネルギーをダイレクトに感じるイマーシブ(没入型)な空間を実現しました。また、ステージへの没入感を高めるために黒を基調とした内装を採用しています。

## ②: 足を踏み入れた途端、非日常の幕が上がる伝統と革新の文化体験



公演は、劇場の入り口から始まっている。私たちはそう考えました。エントランスをくぐったその瞬間から、アートワークのような空間、職人技が光る意匠。劇場全体が、まるでひとつのエンターテインメントとなるよう企画いたしました。劇場の顔となるラウンジやバーカウンターには、京都の職人やアーティストとのコラボレーションによる、日本の伝統文化を象徴するシンボルプロダクトを配置。伝統に学び、革新に挑む。伝統と現代の感性の共鳴を体感して頂く空間設計となっています。



・巨大提灯(小嶋商店とのコラボレーション):

江戸時代より続く「小嶋商店」と博展との共同制作により、伝統的な小嶋式提灯の製法を活かしつつ、内部に現代的な演出照明を取り入れた特注の巨大提灯を配置し、来場者を温かく迎え入れます。また、一部照明は博展のクリエイティブコレクティブ「SALVAGED WORKS」が企画デザインしたオリジナルプロダクトを起用しております。

・世界最大級の巨大暖簾(のれん中むら・「京源」紋章上絵師とのコラボレーション):

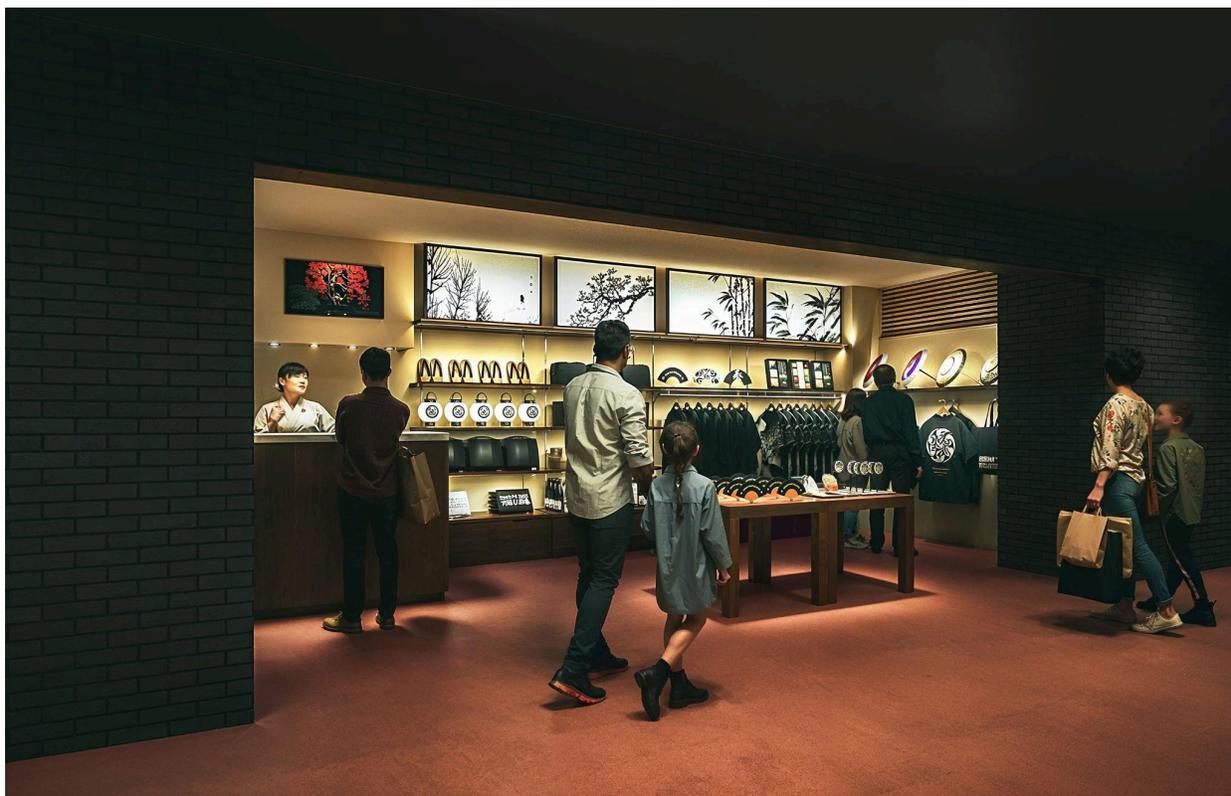
エントランスの境界を彩る横幅約19mに及ぶ世界最大級の暖簾は、「のれん中むら」と共同制作しました。描かれる紋は、伝統技法と現代技術を融合した「京源」紋章上絵師である波戸場承龍氏・波戸場耀鳳氏によるDRUM TAOの新しい紋があしらわれ、「伝統と革新の融合」を表現しています。

### ③: 公演前後の余韻を楽しむルーフトップスペース



劇場にはルーフトップスペースを併設。都市型劇場としては珍しく、ラウンジ内バーカウンターでご購入いただいたドリンクやフードをお持ち込みいただけます。開放感あふれる屋上からの眺めは、壮観の一言。京都の夜風にあたりながら、特別な一杯とともにくつろぎのひとときをお楽しみください。

#### ④：感動まで形にする、こだわりの逸品ギフトショップ



劇場内のギフトショップでは、ここでしか手に入らないお土産をご用意。本劇場オリジナルグッズに加え、京都ならではの職人や特産品とコラボレーションしたアイテムもラインナップ。パフォーマンスや音には形がありません。だからこそ、感動をそのままお持ち帰りいただけるよう丹精込めてお作りしているグッズを汎用性高くディスプレイできるようにしています。

#### ▼株式会社博展 について

代表者：代表取締役 会長執行役員 CEO 田口 徳久、代表取締役 社長執行役員 COO 原田 淳

所在地：〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目1番1号 東京スクエアガーデン20F

設立：1970年3月

上場：東京証券取引所グロース市場（証券コード：2173）

事業内容：パーパス「人と社会のコミュニケーションにココロを通わせ、未来へつなげる原動力をつくる。」のもと、多様な“体験”を統合的にデザインし、企業や団体のマーケティング課題の解決に貢献しています。

<公式サイト>

コーポレートサイト：<https://www.hakuten.co.jp/>

これからの“体験”を考えるwebマガジン「THINK EXPERIENCE (TEX)」  
<https://www.hakuten.co.jp/tex>

<公式SNS>

Instagram: @hakuten\_\_

X: @HakutenCorp

facebook: @hakutencorp

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社博展 広報・PR担当

E-mail : pr@hakuten.co.jp